

表形式で授業登録・編集 確定・連続設定 授業一覧 並べ替え 授業ID設定 未設定チェック

表形式で授業を登録・自由に編集

- **表形式で自由に複写・貼付**  
 詳細行の右クリックで、**行の挿入・削除・複写・貼付**(範囲指定可能)、**行編集**、**セル**(範囲指定可能)の複写・貼付の処理が選択できます。項目の長さの変更は記憶するので、長い名称にも対応できます。  
 ・**選択授業も、表形式で新規登録**できます。  
 「授業」の表やエクセルとの複写貼付も可能です。
- **○印のクリック・ドラッグで複雑な設定に対応**  
 ・**ドラッグで連続**  
 2単位以上の詳細行の○印をドラッグすると「連続」の設定ができます。もう一度ドラッグすると連続を解除します。  
 ・**授業の内訳を設定**  
 コンボボックスでの選択や「○」印のダブルクリックで先生・科目・クラス・教室・単位数などの行単位の変更が可能です。
- **ウィザードでの登録・編集**  
 「追加登録」や「削除」ボタンクリックでは、ウィザード形式で一度に複数の授業登録や削除が可能です。

確定の設定 選択授業の機能 まとめて削除

- **確定の設定**  
 駒入れ前に駒の配置を固定したい場合は、「確定授業設定ウィンドウ」の固定する時間枠をクリックします。このウィンドウは、駒の固定(確定)の他、「駒はずし」や通常の配置もできます。  
 ○印の位置する駒の番号が、「確定授業設定ウィンドウ」にも同じ「駒番号」で表示されて配置時間を明示し、クリックしている駒は青色と水色の背景で明示します。教室の同時収容数を上回る設定にはメッセージを表示します。
- **複雑な設定に対応する「選択授業」の機能**  
 選択授業では○印のオンオフで非常に複雑な設定もできます。(○印の数と単位数が一致しない時は、赤く表示して注意喚起)  
 「内訳のグループ分け」(教室の使用数の制御)も設定できます。
- **範囲を指定して授業を削除**  
 授業の種類・学年・曜日等を指定して授業の削除が可能です。

授業の確認 名称・授業・時間割データの連携

- **先生・クラス・科目・教室別授業時数一覧表示**  
 「先生別授業確認」では、条件から判断して持ち時間が長い先生を赤色表示し、「クラス別授業確認」では、設定した授業時数より多い場合赤色、少ない場合青色で背景表示します。  
 授業の確認画面をダブルクリックで詳細画面を開き、詳細画面から授業(選択授業)設定画面も開きます。
- **全クラス授業時数一覧表**  
 →クラス&科目別の単位数の合計確認が可能です。  
 授業データは、AI手直しや名称属性データとも連携し、修正は他のデータにも反映されます。担任変更の際に、LHRと道徳の担当も自動的に変更する事も可能です。

並べ替えとカラー設定

- **授業も管理しやすい順番に「並べ替え」**  
 選択授業は「並べ替え」ボタンクリックで、基本授業は「先生順」「クラス順」などのボタンをクリックします。  
 選択授業設定画面で「選択授業Jump」をクリックすると一覧画面を表示し、変更したい選択授業に移行する事ができます。
- **カラー自動設定**  
 →一定の基準で同じカラーを設定可能。見やすくなります。

授業ID設定 授業未設定チェック

- **授業ID設定:活用されています!**  
 授業IDの用途としては、A3横1枚で全校一覧印刷の際に、個別の内容を表現した「授業ID」(例:「11体育鈴藤」→「クラス・科目・教室・先生」)の1行印刷で実現したり、学事システム等に多用されます。  
 授業IDの「設定」で、先生・クラス・科目・教室名や略称、文字の一部、任意の文字を組み合わせると個別の授業を表現する「授業ID」を自動作成します。授業IDの「変更」も対応表等の利用で、複数IDを一括変更可能です。
- **授業未設定チェック**  
 →未決定などの理由で空白になっていた項目を探し出します。

試験時間割 会議の簡単設定

- **試験時間割の簡単設定**  
 ・**学年単位の試験時間・科目・待機の先生設定**  
 ・**試験監督の先生選択の条件設定**  
 「受け持ちクラスを監督する」「受け持ちでないクラスを監督」  
 「監督を限定しない」から選択  
 ・先生や科目の設定の途中でもキャンセルで段階的に戻す事や、名前を付けて保存可能になっています。  
 ・駒入れ後は、通常時間割と同様、先生の変更やAI機能の利用が可能です。

